日本キリスト教団 **東金教会〔１９〕**

2017年５月７日 復活節第４主日礼拝

年度目標 《神と共に闘う信仰者》

聖句 しっかりと立つことができるように、神の武具を身に着けなさい。 エフェソ書６章１３節

【礼拝式次第】

司式	足立	
奏楽	中村	
受付	三枝	
案内係	寺内	
名札	安延	
礼拝感謝祈祷	五木田	
〃 〃	井上	
前奏	中村	
讃美歌	１９	一同
信仰告白		〃
交読文	１８	司・会衆
主の祈り	５６４	一同
聖書	ローマ書 8:31～34	司会者
祈祷	足立	
新聖歌	１９６	一同
み言葉の伝え 「すべてを賜る神」	中村	
讃美歌	５３４	一同
聖餐式 配餐……	岡村	
	朴	
祈祷……	岡部	
	岡村	
讃美歌	２０５	一同
献金		
礼拝感謝	五木田	
〃 〃	井上	
報告	足立	
頌栄	５４１	
祝祷(派遣)	中村征一郎	
後奏 新聖歌５８	聖歌隊	

【集会案内】

聖書研究祈祷会 5月10日(水)午後7時半
早天祈祷会 月-土7時(除祭日)メーヤー館
聖書輪読会 5月14日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会 5月14日(日)10:25-10:30

【報告】

☆中里美穂子姉のお妹さまが帰天され、本日鎌倉恩寵教会でご葬儀とのことです。ご遺族皆様の上に主のお慰めをお祈り致します。
☆戸波 姉が無事退院されました。また戸波 兄も家にお帰りとのこと、お喜び致します。
☆４月分の献金報告が出来ております。週報棚よりお取り下さい。
☆本日は総会資料作成、印刷日です。資料作成担当の方、又、印刷御奉仕下さる方は宜しくお願い致します。
☆教会学校では５月１４日に母の日礼拝が予定されております。
☆「ペンテコステ礼拝ご案内」にありますように６月４日はペンテコステ礼拝です。当日は礼拝後墓前礼拝も予定されております。お覚え下さい。
☆ペンテコステを覚え、感謝献金をお献げ下さい。
☆６月１６日午前10時半より午後２時半まで千葉支区婦人部東総分区集会が持たれます。会場は２階会堂です。
☆教会学校１泊夏期学校が８月９、１０日「千葉市少年自然の家」で持たれます。ご加祷、ご協力宜しくお願い致します。

【東金教会定期総会公告】

○日時2017年５月１４日 礼拝後
○場所…東金教会一階会堂
○議事… 朴 教師招聘の件
長老選任の件
その他

【5月7日～5月13日の誕生者】

○ 今井 姉 ○武田 姉 ※おめでとうございます。主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(4/30)	19	22	41
聖研祈祷会(5/3)			
聖書輪読会(4/30)	2	2	4
教会学校(4/30)	9	13	22

早天祈祷会			
日	男	女	計
5/1	1	2	3
5/2	1	2	3
5/3			
5/4			
5/5			
5/6	1	2	3

主日礼拝献金(4/30)……26,000円
教会学校献金(4/30)……7,350円

【今日のメッセージ】

題［すべてを賜る神］
聖書 ローマ書８：３１～３４
１．唯一の支柱なる神
２．神に選ばれたもの
３.復活させられたキリストが右に

【次週(５月１４日)礼拝案内】

題 ［引き離されない!!］
聖書 ローマ書8:35～39
交読文 １８
讃美歌 ２０番 ２７４番
新聖歌 ２０５番

【次週(５月１４日)礼拝当番者】

御言葉の伝え	中村征一郎
司式者	森川
奏楽者	中里
受付者	鈴木
案内者	藤本
名札当番	藤田
礼拝感謝祈祷	岡部
〃 〃	岡村
csお話し	岡部
会堂清掃者	岡部
〃 〃	深山
花係	岡部
看板書き	藤田

【聖書から】

ピラトは、人々が集まって来たときに言った。「どちらを釈放してほしいのか。バラバ・イエスか。それともメシアといわれるイエスか。」。
マタイによる福音書二七章一七節

ユダヤの祭司長や長老達は主イエスを王と自称し民衆を惑わす者としてピラトに引き渡した。しかしピラトは訴えの事実はなく「ねたみ」によるものと見抜いた。更に、ピラトは夢で神の啓示を受けた妻から、イエスは義人であると告知された。イエスはローマの法の目でも神の目でも罪を見出せない義人なのである。よって、ピラトは裁判官の権威により無罪放免の判決を下さねばならなかったのである。 しかし、ピラトは暴動を起こしそうな民衆を見て利己心に陥り不義なる判決を下した。イエスは妬みにより訴えられ利己心により十字架につけられたのである。ヤコブの手紙は三・一六に「ねたみや利己心のあるところには混乱やあらゆる悪い行いがある」と記している。妬みや利己心は、私たちの内にもあり、罪に根差している。それで意図的でなく、知らずのうちに妬みと利己心により突き動かされてしまうのである。そうならないためにはイエスの愛を賜り自分を愛するように隣人を愛せる者とされなければならない。（一コリント一三・四以下）。

ピラトはイエスを釈放するため最後の手段を用いた。囚人の恩赦である。当時バラバという人が暴動と殺人の罪で投獄されていた。彼はローマの法律でも、ユダヤの律法でも有罪であった。ピラトは民衆にイエスかバラバか二者択一を迫った。すると民衆はバラバを釈放し、代わりにイエスを十字架につけよと叫んだ。民衆はこの世的繁栄を目標に過激な活動をするバラバを選び、神の国を目標に活動するイエスを捨てた。愚かな選びであるが、今も繰り返されていることである。私達はイエスを選び、否、イエスに選ばれ神の国を目指している。「神の国は、飲み食いではなく、聖霊によって与えられる義と平和と喜びなのです」（ローマ一四・一七）。神の国には私達が切望する「義」と「平和」と「喜び」が備えられている。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。